

第 29 回ちゅピCOM放送番組審議会議事録

日 時 : 2026年3月11日(水) 10:00~11:30

場 所 : 中国新聞ビル8階 中国経済クラブ

出席委員 : 10名/委員総数10名

柳迫長三(委員長)、中村由利江(副委員長) 石橋勇、木村正信

西尾裕次、濱田敏博、島田青坪、徳永修、木下善雅、宮野元壮(敬称略)

社側出席 : 山本慶一郎(代表取締役社長・CEO)、中谷博之(代表取締役副社長・COO)

【報告事項】 土井俊裕(取締役・CFO 経営企画本部長)、藤井伸治(取締役お客さま・営業本部長兼営業企画部長)、佐々木啓之(取締役・技術本部長)、藤本裕輝(執行役員メディア事業本部副本部長兼編成制作部長)

1. ちゅピCOM11chの現状について

メディア事業本部の編成制作部藤本部長から、ちゅピCOM11chの2025年4月から2026年3月までの取り組み概要について報告。2025年10月1日のケーブルジョイとの合併により、府中市、福山市新市町、神石高原町へサービスエリアが拡大した。また、コミュニティチャンネル(111ch)の愛称を「テレちゅピ」と決定し、2026年3月1日から使用を開始した。

番組面では、被爆80年関連として平和記念式典の生中継やドキュメンタリーを広域で放送したほか、祭り中継では「壬生の花田植え」、スポーツ中継では、広島東洋カープの二軍戦、女子プロゴルフの大会「ちゅーピーレディースカップ」、高校野球県大会・中国地区大会などを放送。このほか、新春特別番組の制作やNHKとの防災番組連携、長崎ケーブルメディアとの被爆80年に関連した番組交換など、多岐にわたる取り組みを報告した。

【審議事項】

2. 審議番組「コミュニティチャンネルの内容、編成」について

ちゅピCOM11chの放送内容および番組編成について審議を行った。委員からは次のような意見が出された。

- (1) 被爆80年特集などの平和関連番組については「加害者としての広島を忘れてはならない」という視点が歴史を多面的に捉えるうえで重要であり、日本が加害者であったという認識を改めて考えさせられたとの評価があった。また、世界情勢を踏まえ、戦争の危険性を引き続き発信していく必要性が指摘された。さらに、被爆三世・四世への影響や南方戦線で戦死した人々をテーマにした番組制作の提案などもあった。
- (2) カープ関連番組については、司会者に親しみやすさに加え専門性と気品を備えた人材を求める意見が出された。
- (3) 同一のインフォーマーシャルが繰り返し放送される点への指摘。

(4) 若い世代に向けての番組作りについて

- ・コンパクトな番組構成が望ましいとの提案があった。
- ・若い世代では SNS を中心とした視聴行動が広がっていることを踏まえ、番組冒頭のインパクトの重要性を指摘する意見があった。

(5) 社会福祉協議会の活動取材する番組については、地域に限定されない普遍的なテーマが参考になるとの評価があり、手話を学ぶ企画も好評であった。

(6) 「壬生の花田植え」中継ではドローン撮影による映像表現が新鮮だったとの感想があった。エリア内の他の祭りについても取り上げてほしいとの意見が出された。

このほか、番組企画として、若い世代が特派員として地域情報を発信する形式や、広島県内の市町を紹介する企画、映像美を重視したドキュメンタリー制作などの提案があった。また、熊の出没や過疎など広島県が直面する社会課題を取り上げる番組の重要性についても意見が出された。

以上。